

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

2025年11月14日

株式会社ゼネテック

証券コード：4492

目次

- ① 2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算概要
- ② 2026年3月期 第2四半期(中間期) セグメント別の状況
- ③ 財政状態・業績予想・株主還元
- ④ 中期経営計画 進捗状況
- ⑤ トピックス
- ⑥ 当社事業のご紹介
- ⑦ 会社概要

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算概要

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算サマリー

決算 ポイント

売上高 : 新規連結効果で過去最高を更新

営業利益 : 前年同期比減益ながら、社内計画を上回って着地

売上高	51.1億円	前年同期比	+11.1億円	+28.0%
-----	--------	-------	---------	--------

営業利益	1.5億円	前年同期比	△2.0億円	△57.6%
------	-------	-------	--------	--------

営業利益率	3.0%	前年同期比	△6.0p	
-------	------	-------	-------	--

EBITDA (※1)	2.6億円	前年同期比	△1.6億円	△38.3%
-------------	-------	-------	--------	--------

EBITDA率 (※2)	5.2%	前年同期比	△5.7p	
--------------	------	-------	-------	--

※1 EBITDA : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

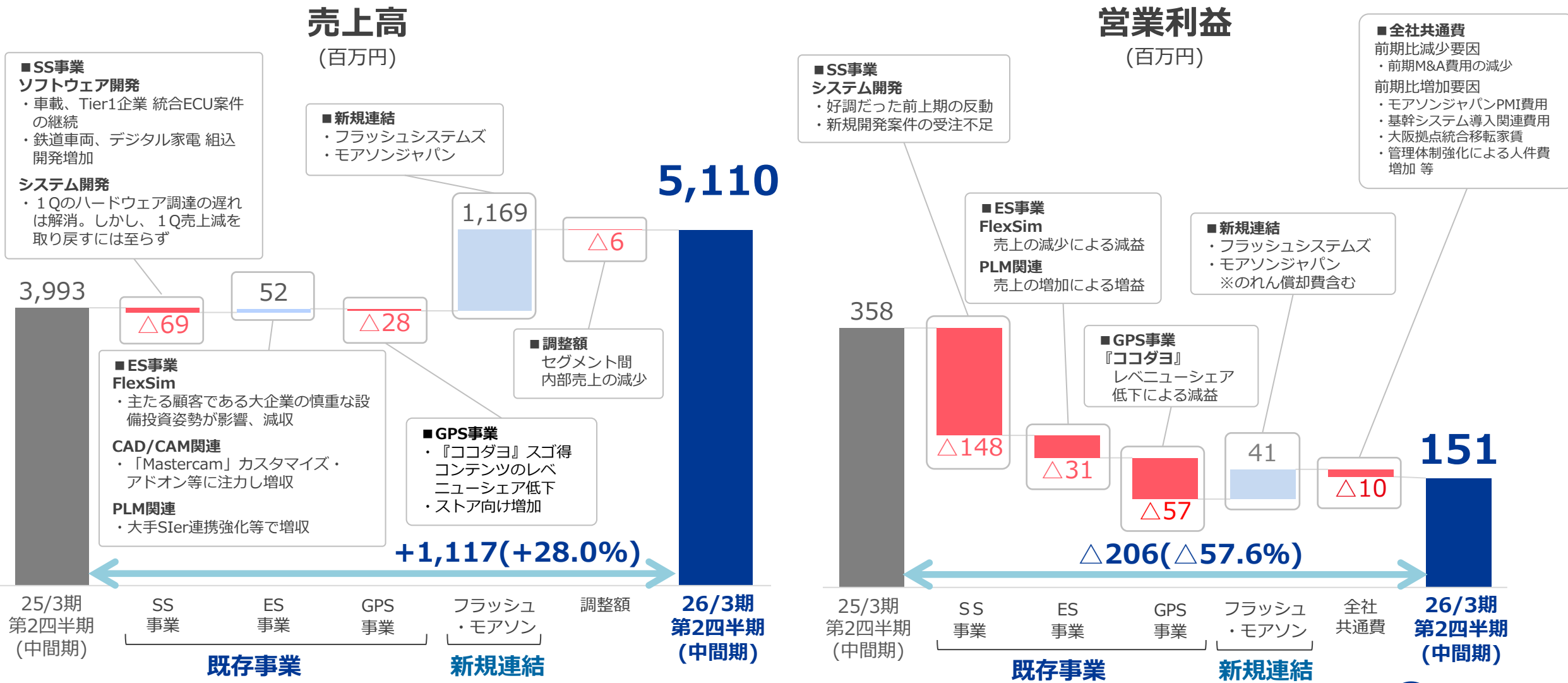
※2 EBITDA率 : EBITDA/売上高 (EBITDAマージン)

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算概要

(百万円)	2025年3月期 第2四半期 (中間期)実績	構成比	2026年3月期 第2四半期 (中間期)実績	構成比	前年同期比 増減	(%)
売上高	3,993	100.0%	5,110	100.0%	+1,117	+28.0%
売上総利益	1,611	40.4%	1,875	36.7%	+263	+16.3%
営業利益	358	9.0%	151	3.0%	△206	△57.6%
経常利益	354	8.9%	158	3.1%	△195	△55.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	185	4.6%	85	1.7%	△99	△53.9%

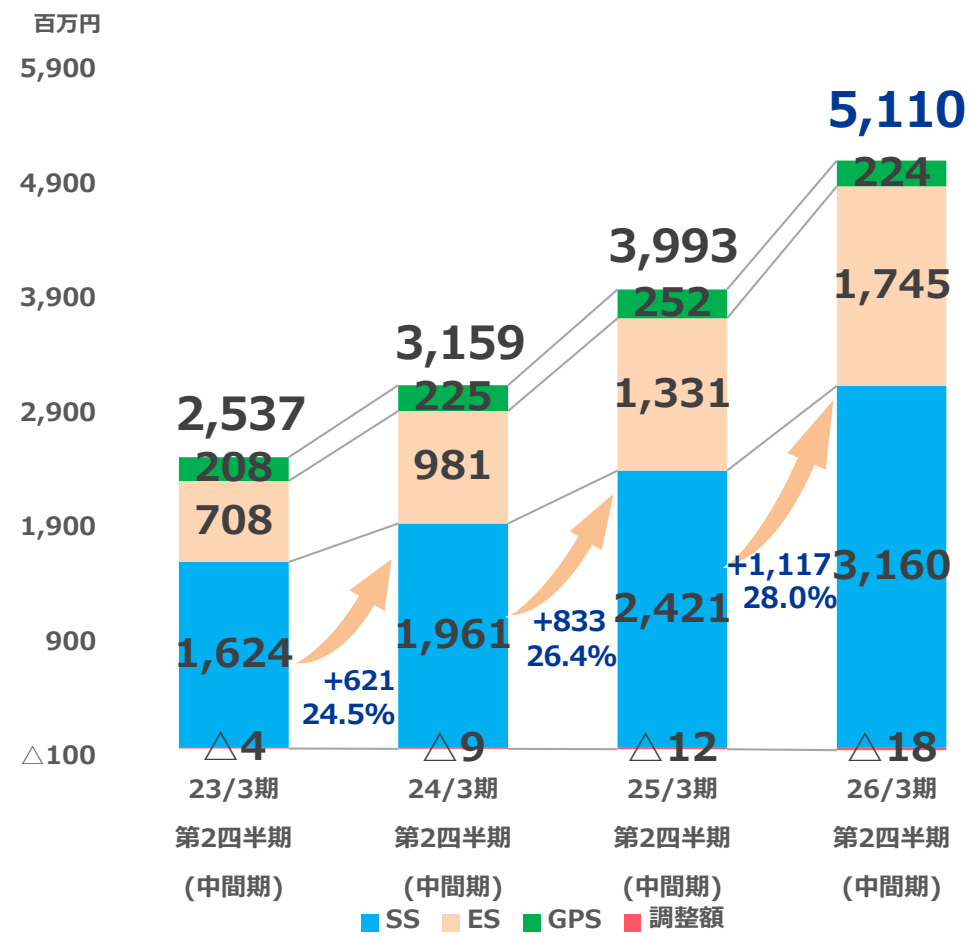
売上高・営業利益の増減要因（前年同期比較）

既存事業・新規連結 前年同期比較

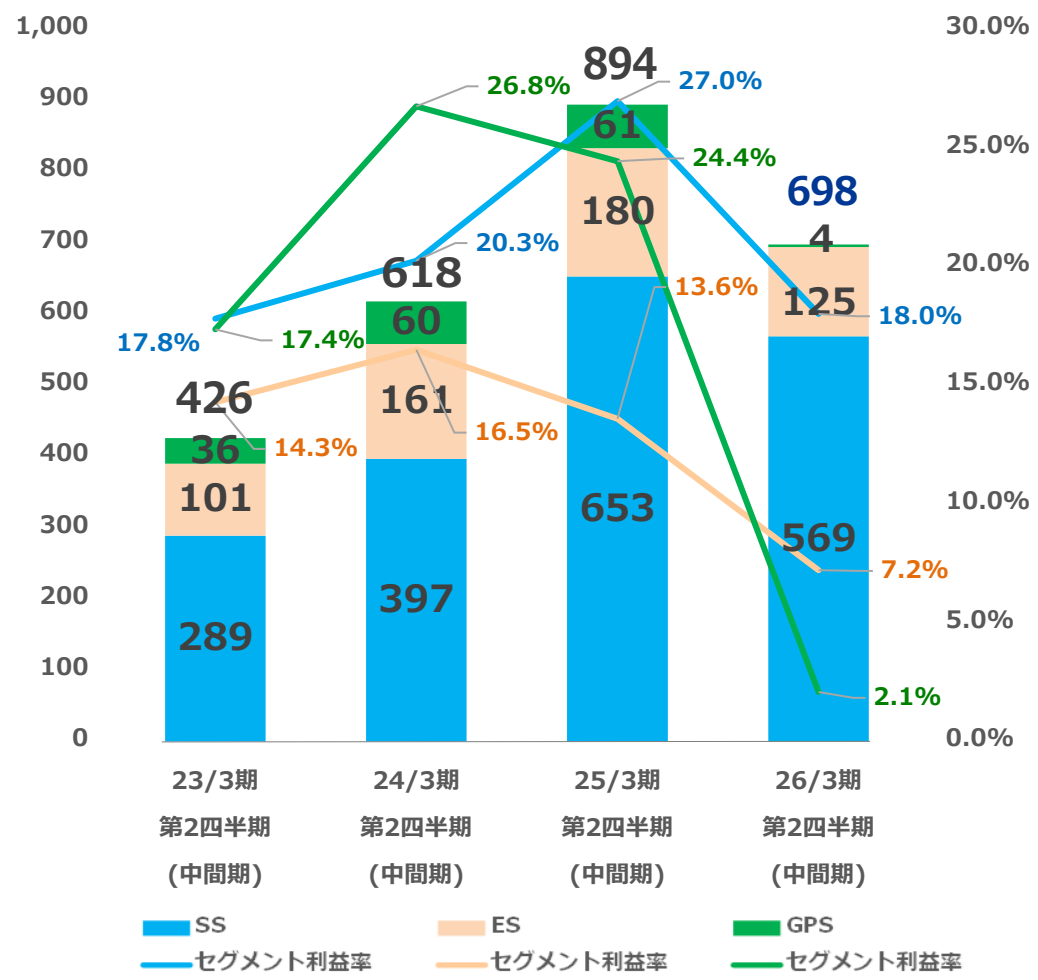


セグメント別 売上高・セグメント利益 第2四半期(中間期)推移

23/3期-26/3期 連結・セグメント別 売上高推移



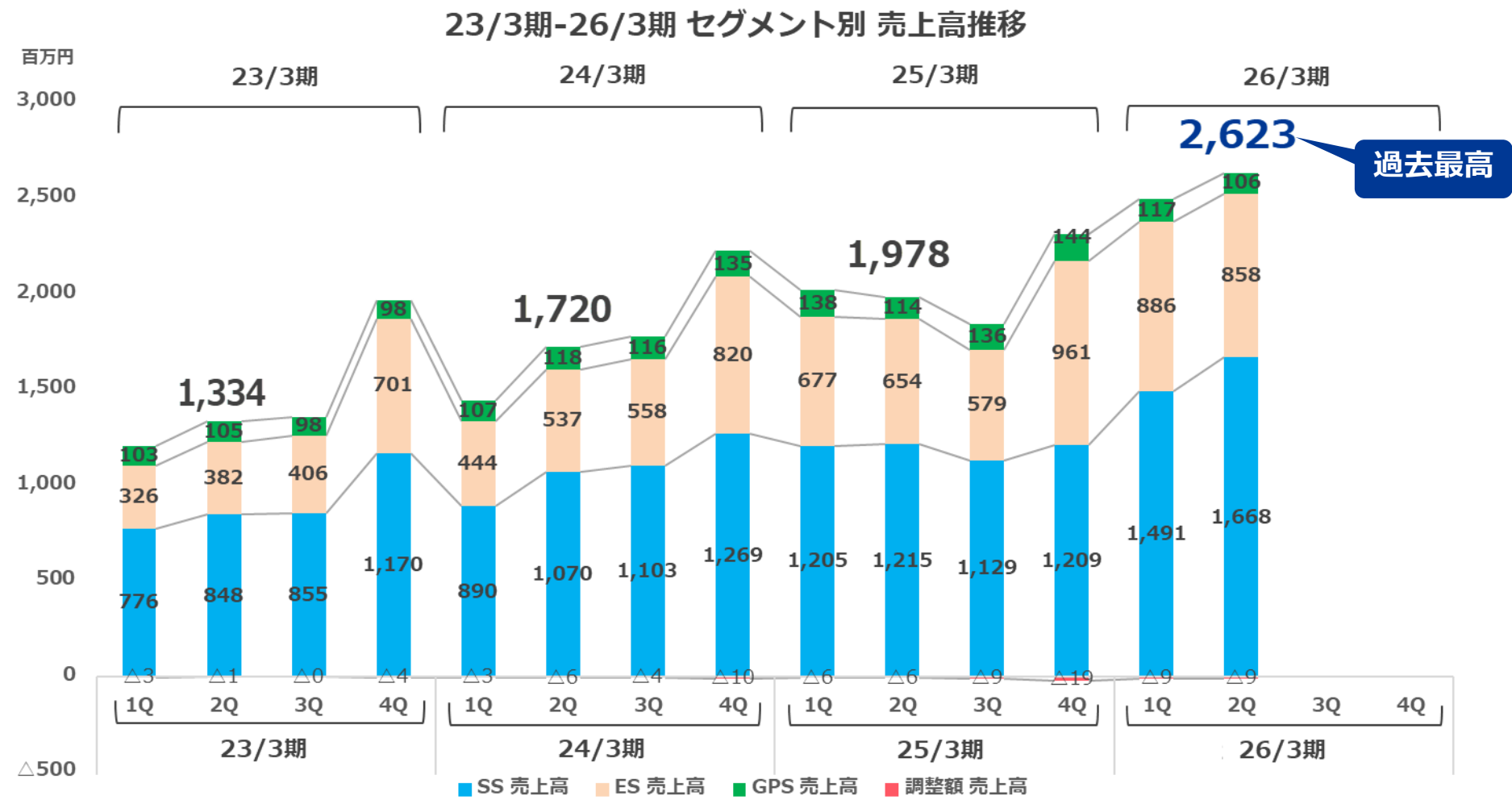
23/3期-26/3期 セグメント利益推移



※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しています。

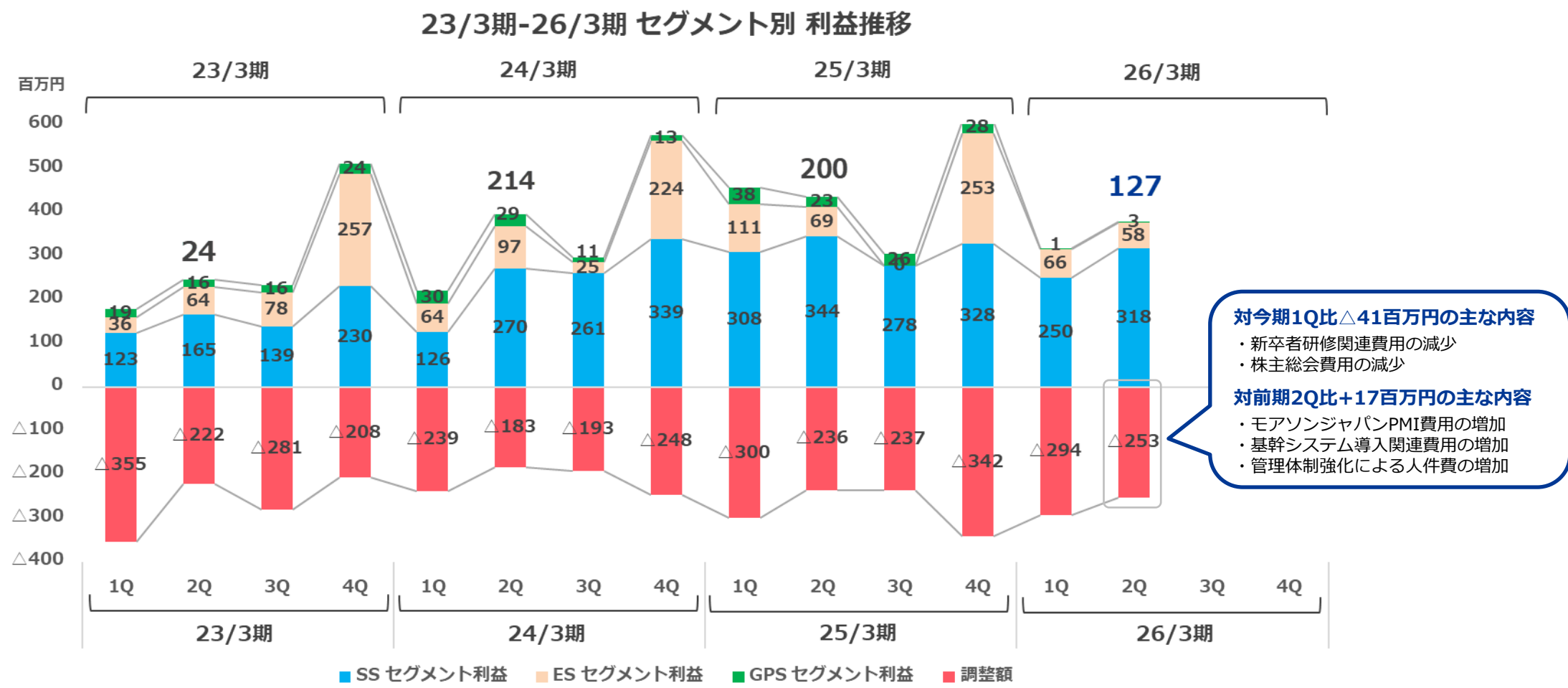


セグメント別 四半期売上高推移



※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しています。
※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

セグメント別 四半期セグメント利益推移



※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しています。

※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

セグメント別 四半期データ

(百万円)		2023年3月期					2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
連結	売上高	1,203	1,334	1,360	1,966	5,864	1,439	1,720	1,774	2,214	7,147	2,014	1,978	1,857	2,295	8,124	2,486	2,623			
	営業損益	△175	24	△47	303	105	△17	214	105	328	629	157	200	67	267	693	24	127			
	利益率	△14.6%	1.9%	△3.5%	15.5%	1.8%	△1.2%	12.4%	5.9%	14.8%	8.8%	7.8%	10.1%	3.6%	11.7%	8.5%	1.0%	4.9%			
SS	売上高	776	848	855	1,170	3,650	890	1,070	1,103	1,269	4,334	1,205	1,215	1,129	1,209	4,759	1,491	1,668			
	利益	123	165	139	230	659	126	270	261	339	998	308	344	278	328	1,259	250	318			
	利益率	15.9%	19.6%	16.3%	19.7%	18.1%	14.3%	25.2%	23.7%	26.7%	23.0%	25.6%	28.3%	24.6%	27.1%	26.5%	16.8%	19.1%			
ES	売上高	326	382	406	701	1,816	444	537	558	820	2,360	677	654	579	961	2,871	886	858			
	利益	36	64	78	257	437	64	97	25	224	411	111	69	0	253	434	66	58			
	利益率	11.2%	16.9%	19.4%	36.7%	24.1%	14.4%	18.2%	4.6%	27.4%	17.4%	16.4%	10.7%	0.1%	26.3%	15.1%	7.5%	6.9%			
GPS	売上高	103	105	98	98	405	107	118	116	135	478	138	114	136	144	534	117	106			
	利益	19	16	16	24	76	30	29	11	13	85	38	23	26	28	117	1	3			
	利益率	19.0%	15.8%	16.7%	24.6%	18.9%	28.6%	25.1%	10.0%	9.9%	17.9%	28.0%	20.1%	19.5%	19.9%	22.0%	1.0%	3.3%			
調整額	売上高	△3	△1	△0	△4	△9	△3	△6	△4	△10	△24	△6	△6	△9	△19	△40	△9	△9			
	利益	△355	△222	△281	△208	△1,068	△239	△183	△193	△248	△866	△300	△236	△237	△342	△1,117	△294	△253			

※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しています。
※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

2026年3月期 第2四半期(中間期) セグメント別の状況

SS (システムソリューション) 事業

売上高 前年同期比30.5%増 セグメント利益 前年同期比12.9%減

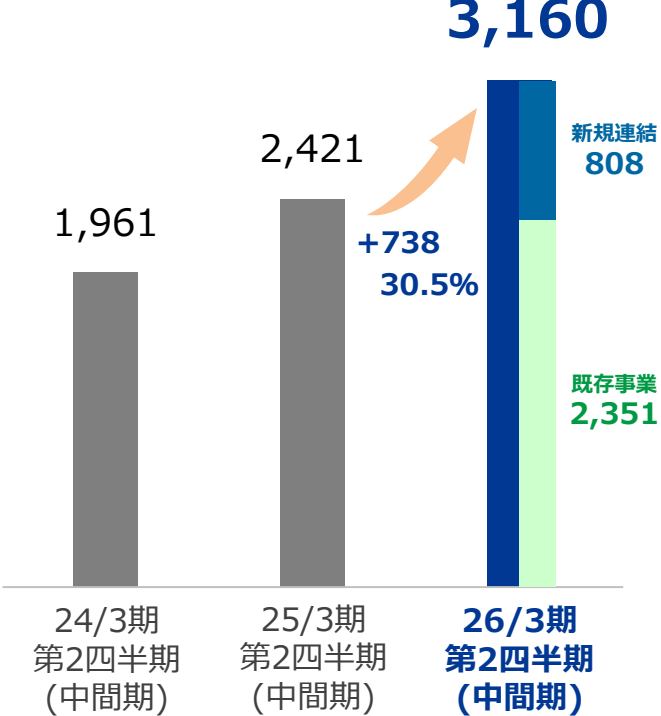
ソフトウェア開発

既存事業 : 自動車メーカー・Tier1企業の統合ECU等の高付加価値案件の継続、鉄道車両向け開発の増加、デジタル家電などの組込系開発が堅調に推移

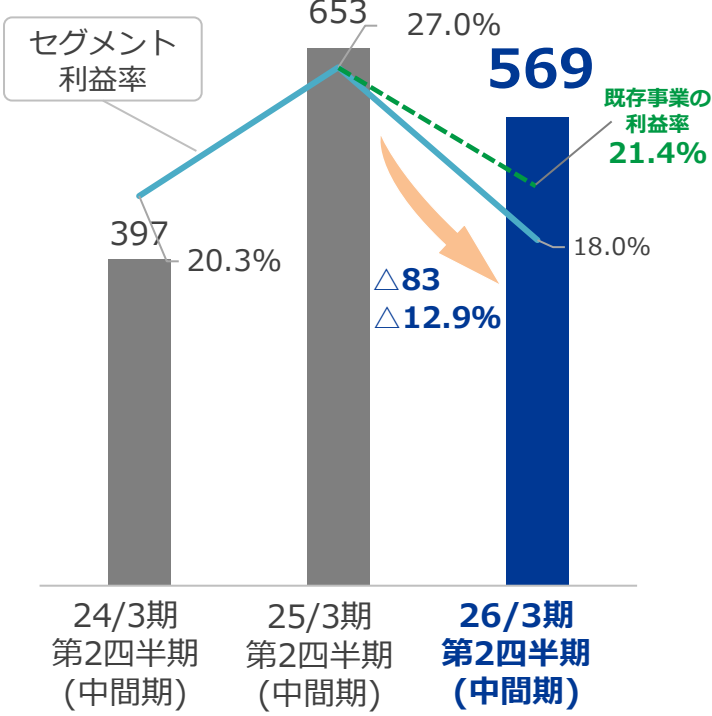
新規連結効果 : モアソンジャパンのデジタル楽器、産業用ロボット制御、放送局向けソフトウェア開発など

システム開発 : 第1四半期のハードウェア調達遅れが解消、第2四半期期間は前年同期を超える売上となったが、第1四半期の売上減を取り戻すには至らず

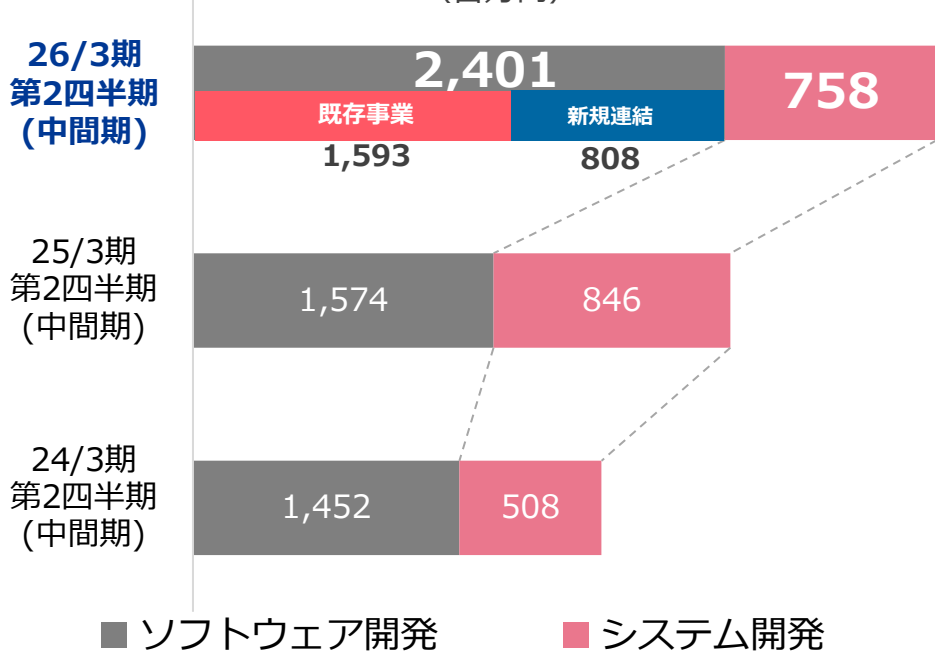
売上高
(百万円)



セグメント利益
(百万円)



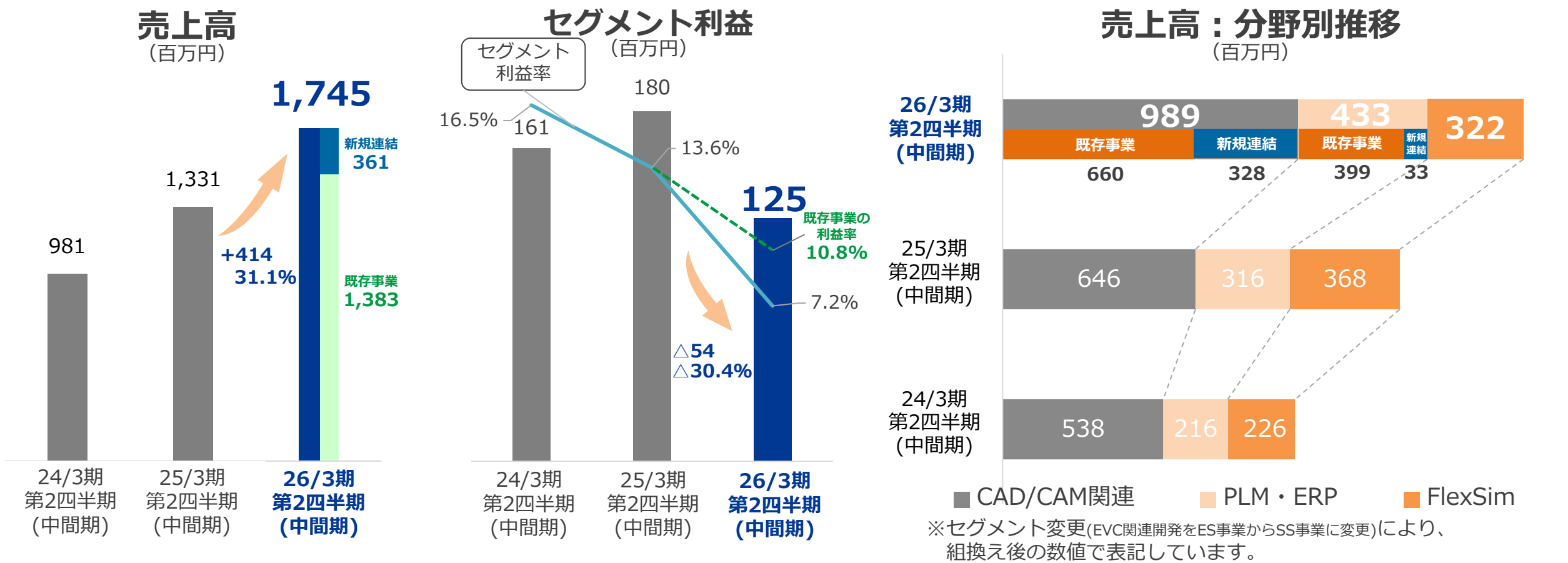
売上高：分野別推移
(百万円)



※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しています。

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -1-

売上高 前年同期比31.1%増 セグメント利益 前年同期比30.4%減



ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -2-

売上高 前年同期比31.1%増 セグメント利益 前年同期比30.4%減

FlexSim



： 主たる顧客である大手製造・物流企業の設備投資姿勢が慎重で、販売奮わず
コンサルティング営業体制の強化 準大手・中堅企業への拡販

CAD/CAMソフトウェア関連

既存事業

Mastercam

： ライセンス販売、メンテナンスサポートに加え、技術的知見を活かしたカスタマイズ・アドオン
ソフトウェア、エンジニアリングサービスに注力し増収

新規連結効果

： モアソンジャパンのCAD/CAM関連売上高

PLM・ERP



： 大手SIerとの連携強化および子会社フラッシュシステムズの新規連結効果などで増収
フラッシュシステムズを2026年1月1日に吸収合併予定

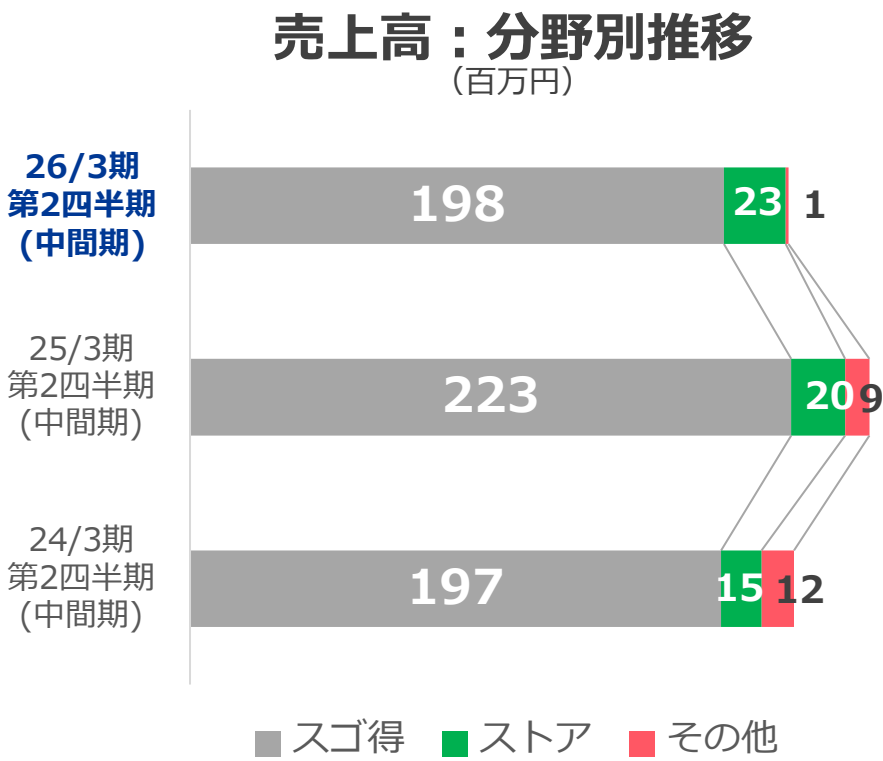
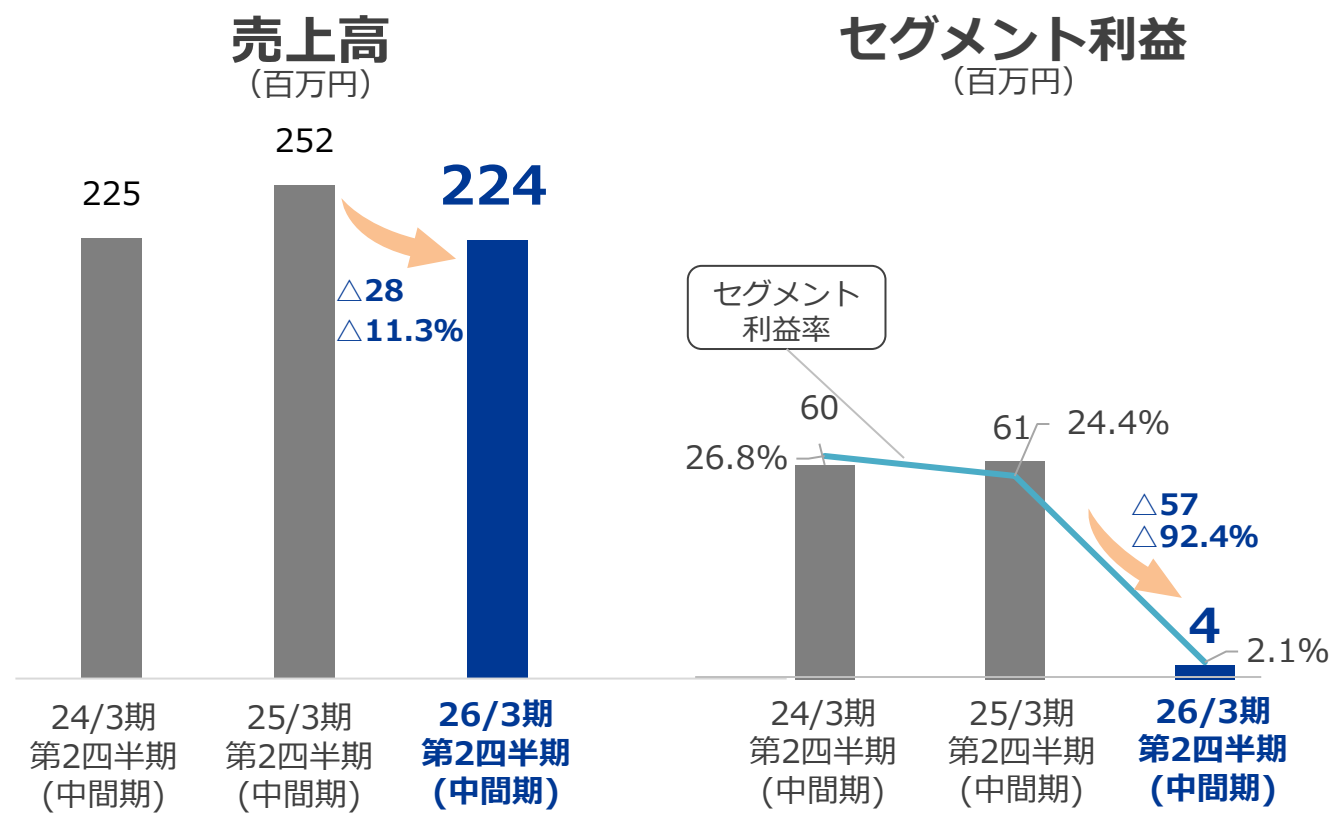
GPS事業

売上高 前年同期比11.3%減 セグメント利益 前年同期比92.4%減

防災サポートアプリ『ココダヨ』：サービス全体の累計ダウンロード数180万件突破

- ・NTTドコモ「スゴ得コンテンツ」向け売上は『ココダヨ』に適用されるレベニューシェア(※)が1Qに引き続き低下し減収(※サービス全体の収益をアプリ提供事業者間で分配する仕組み)
- ・ストア向けは順調に伸長

災害時位置情報受信アプリ



財政状態・業績予想・株主還元

連結貸借対照表 前期末比較

(百万円)		2025年3月期 期末	2026年3月期 第2四半期末 (中間期末)	増減	増減の 主な理由
資産の部	流動資産	4,620	4,035	△584	受取手形及び売掛金△375 現金及び預金△324
	固定資産	2,529	2,439	△89	のれん償却△82
合計		7,149	6,474	△674	
負債の部	流動負債	3,333	2,786	△547	未払金△412 買掛金△154
	固定負債	1,411	1,296	△115	長期借入金△135
合計		4,745	4,082	△663	
純資産の部	資本金	379	388	+9	
	資本剰余金	517	527	+10	
	利益剰余金	1,508	1,479	△29	親会社株主に帰属する中間純利益 +85 配当金支払による利益剰余金 △114
合計		2,403	2,392	△11	
負債・純資産合計		7,149	6,474	△674	

連結キャッシュフローの状況

(百万円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減
営業活動によるCF (A)	383	△38	△421
投資活動によるCF (B)	△313	42	+355
フリーキャッシュフロー (A+B)	70	4	△66
財務活動によるCF (C)	506	△273	△779
現金及び現金同等物の増減 (A+B+C)	576	△269	△846
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,744	1,616	△127

2026年3月期 通期業績予想

通期業績予想の修正はありません

通期予想：第3四半期以降の市場動向や外部環境が不透明なことから、現時点では前回公表の予想を据え置いております。
今後の業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

(百万円)	2025年 3 月期		2026年 3 月期		
	第2四半期 (中間期)実績	通期実績	第2四半期 (中間期)実績	通期予想	進捗度
売上高	3,993	8,124	5,110	11,800	43.3%
営業利益	358	693	151	800	18.9%
経常利益	354	683	158	775	20.4%
親会社株主に帰属する 中間/当期純利益	185	421	85	450	18.9%

下期の主な取り組み

通期業績予想の達成、収益向上、
次期中期経営計画に向けたアクション

重点ポイント

- 既存事業の収益改善
- 新規連結子会社の収益改善
- 収益改善を支える経営基盤の整備



2026年3月期 株主還元

配当予想の修正はありません

年間配当 前期比+1.5円の19.50円を予想

■ 中間配当は予想通り8.00円

配当方針：中間配当および期末配当の年2回、2026年3月期までを目安として、
連結配当性向50%程度を目途とする。

配 当

	中間配当	期末配当	合計
2025年3月期（実績）	8.00円	10.00円	18.00円
2026年3月期（予想）	8.00円	11.50円	19.50円

中期経営計画 進捗状況

中期経営計画(2023年度～2025年度)の全体像

経営目標

2026年3月期 売上高118億円、営業利益率20%

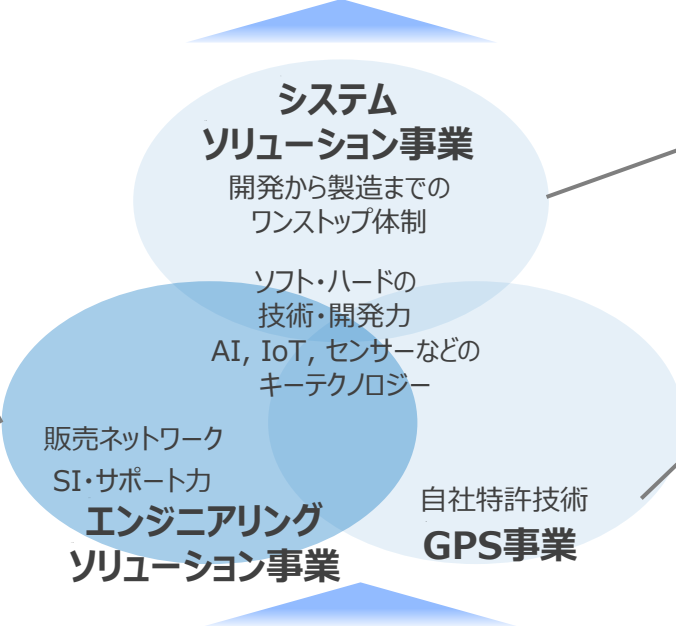
全体方針

ソリューションパートナーとしての真価の発揮

事業成長戦略

(基本戦略)
高収益事業の
拡充

事業成長戦略 2
ものづくり領域での
DXソリューション強化



事業成長戦略 1
事業領域のシフト
および拡大

事業成長戦略 3
プラットフォーム上の
サービス拡充

自社特許技術
(Global Positioning Solution : 位置情報を活用したサービス)

経営基盤戦略

1. 人材
戦略的事業推進の核となる人材の拡充・高度化

2. M&A・アライアンス
ビジョン実現に向けた機動的・積極的な実施

事業成長戦略

SS(システムソリューション)事業

事業領域のシフトおよび拡大

進捗

付加価値向上策

上流&製造・販売型へのシフトによる高付加価値化

高付加価値なモビリティ案件の受注

拡販策

自動車分野でのシステム開発事業の横展開による拡大

自動車メーカー横展開で新規受注

ES(エンジニアリングソリューション)事業 ものづくり領域でのDXソリューション拡大

進捗

付加価値向上策

ラインナップの拡充・高付加価値化

Mastercam技術サービス、PLM導入ソリューション拡充

拡販策

販売チャネルの拡大

モアソンジャパンの顧客基盤を活用した新規受注

GPS事業

プラットフォーム上のサービス拡充

進捗

付加価値向上策

サービスラインナップの拡充

『ココダヨ』：「au Starlink Direct」の対応

経営基盤戦略

人材

戦略的事業推進の核となる人材の拡充・高度化

進捗

人材

教育制度の拡充

全社教育体系の確立、専門人材の拡充

プロジェクトマネジメント力強化に向けた検討

M&A・アライアンス

ビジョン実現に向けた機動的・積極的な実施

進捗

M&A

ものづくりをワンストップで支援する体制構築に向け、
3カ年においてもM&Aを機動的・積極的に実施

フラッシュシステムズ吸収合併(26年1月予定)、経営資源効率化

モアソンジャパンとの事業シナジー発揮

※次期中期経営計画：2026年5月に公表予定

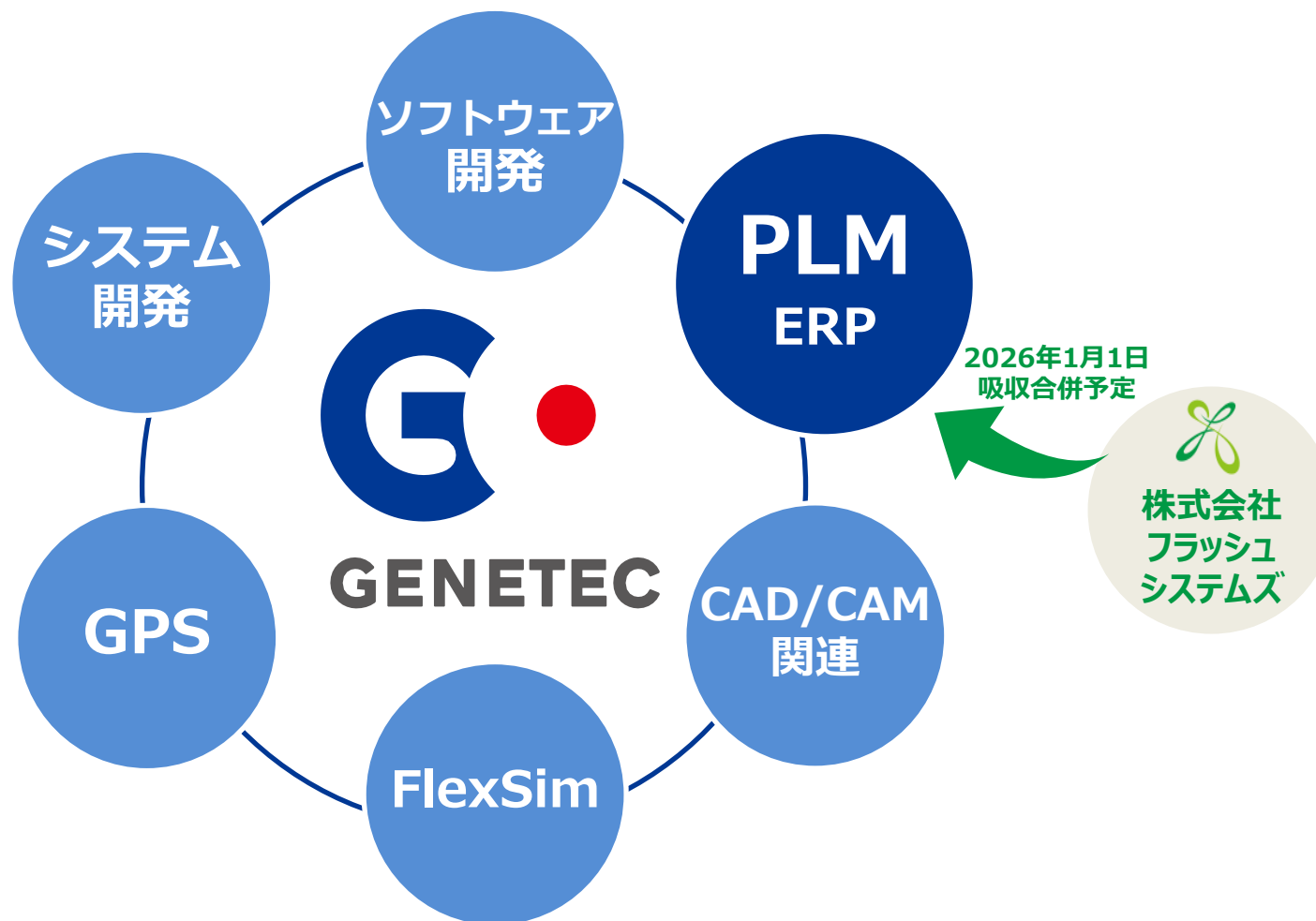
トピックス

完全子会社フラッシュシステムズの吸収合併

吸収合併予定日：2026年1月1日

合併の目的：組織および事業の合理化、グループ全体で保有する経営資源の効率化

合併後の組織：システムインテグレーション事業部(PLM担当部門)内に配置予定



災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』 衛星ースmartフォン直接通信「au Starlink Direct」に対応

5G/4Gエリア外でも**空が見える場所**なら、
『ココダヨ』による位置情報の共有や家族への安否連絡、アプリ内の注意・速報の確認が可能に



- ・災害時の備え
- ・登山やキャンプ、離島や外洋での活動安否確認
- ・企業の事業継続計画(BCP)での活用 など

当社は今後も『ココダヨ』サービスの充実・発展に努め、
安心・安全な社会づくりに貢献してまいります。

若手エンジニアの育成

国内最大級の教育型ロボットコンテスト「ETロボコン2025」東京・北関東地区大会で、新卒エンジニアチームが2部門優勝。チャンピオンシップ大会進出

ETロボコンは、ソフトウェア技術者の育成を目的として2002年から続く国内最大級の教育型ロボットコンテスト。

当社は、2018年から継続して参加し、「全国ブロンズサポーター」として本大会に協賛しています。

チャンピオン
シップ大会進出

2025年11月開催

ETロボコン
東京・北関東
地区大会

2025年9月

ETロボコン
試走会

2025年7月

「ETロボコン2025」
東京・北関東地区大会で
2部門優勝、IPA賞獲得



「ETロボコン2025」東京・北関東地区大会の競技と授賞式の様子

新卒エンジニアのみでチーム「Team : Genkai」を編成。参加30チーム中1位となり 競技部門で優勝。設計品質を評価するモデル審査でも高く評価され、総合優勝も獲得。

News Release (2025年7月1日-2025年9月30日) -1-

日付	分類	タイトル
2025年7月1日	有報	臨時報告書 (当社第40期定時株主総会決議内容の提出)
2025年7月10日	PR情報	生成AIを活用したQ&Aシステム「MorsonSmartQ&A」日本老年看護学会で紹介
2025年7月23日	適時開示	譲渡制限付株式報酬としての新株式発行の払込完了及び主要株主の異動に関するお知らせ
2025年7月23日	有報	臨時報告書 (主要株主の異動)
2025年8月8日	決算	2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
2025年8月8日	適時開示	2026年3月期 第1四半期決算説明資料
2025年8月20日	PR情報	無料オンラインセミナー「多品種少量生産」製造ラインの分析課題をFlexSimで解決
2025年8月26日	PR情報	「国際物流総合展2025」Techrumブースにてコンソーシアム各社と共同でデジタルツイン技術を出展
2025年8月28日	PR情報	連結子会社の役員人事に関するお知らせ
2025年8月29日	PR情報	口腔機能トレーニングアプリ『おくちトレーナー』歯科人工知能研究会にて共同研究成果発表

News Release (2025年7月1日-2025年9月30日) -2-

日付	分類	タイトル
2025年9月1日	PR情報	災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』、衛星—スマートフォン直接通信「au Starlink Direct」に対応
2025年9月8日	PR情報	NICT共同出願特許「無線通信シミュレーション」、FlexSim向けアドオンとして『物流ニッポン』にて紹介
2025年9月10日	PR情報	【無料オンラインセミナー】PLM短期導入とソフトウェア開発を効率化するALM活用、クイック診断で見える次の一手
2025年9月11日	PR情報	大手切削工具メーカー「タンガロイ」とMastercamでのB軸加工の共同プロジェクトを開始
2025年9月24日	PR情報	「ETロボコン2025」東京・北関東地区大会で新卒エンジニアチームが2部門優勝、チャンピオンシップ大会進出

当社事業のご紹介

社会的課題の解決への挑戦と実現

当社中期経営計画より抜粋

技術・開発力に裏打ちされたソリューションで、社会的課題の解決に挑戦し、実現します。

実現すること

日本のものづくりの復活・脱炭素の実現

安心・安全な暮らしの実現

生み出す
効果

品質向上

付加価値向上

生産性向上

安全性向上

もたらす
革新

デジタル化社会を支える
高難度な装置開発

モビリティ変革を支える
自動車の高性能化

AV/エレクトロニクス機器
の高機能化

製品情報の一元管理

高性能な製品の
設計・製造

設備全体の
モニタリング

経営情報の一元管理

作業者の
安全管理

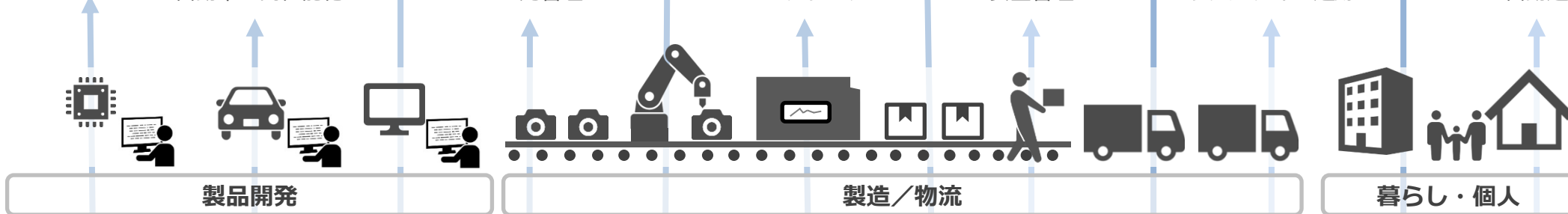
製造・物流現場の
最適化

物流の
リアルタイム追跡

サービス施設の
最適化

災害時位置情報の
自動通知

取組む
DX領域



当社が持つ
ソリューション

半導体製造装置
開発

自動車関連
開発

AV/エレクトロニクス
開発

PLM

3D
CAD/CAM

IoT

ERP

デジタルツイン&
3Dシミュレーション

位置情報
サービス

windchill®

Mastercam
VISUAL
COMPONENTS

GCmonitor
Surve-i

SAP

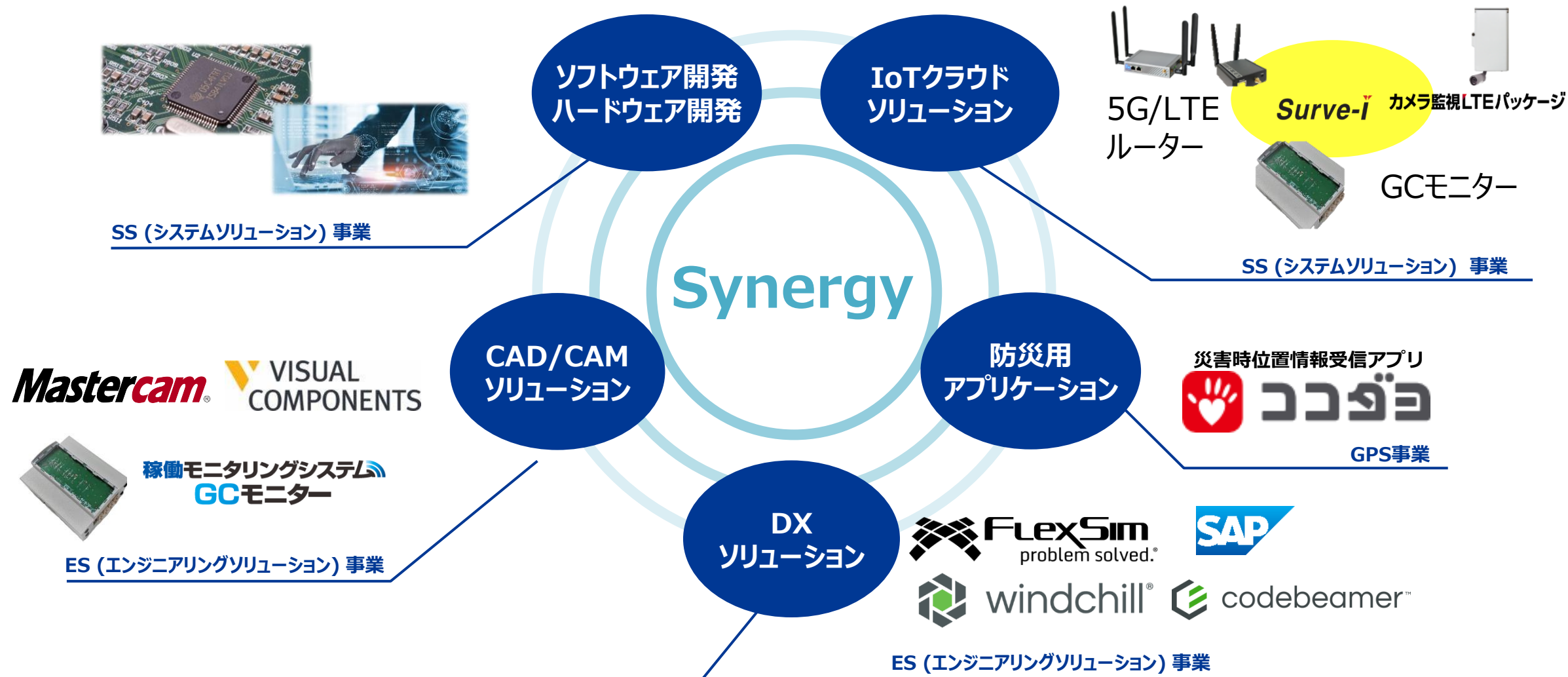
FlexSim
problem solved.™

ココロ

ソフトウェア開発×ハードウェア開発×AI

当社の事業

卓越した技術力でお客様のソリューション・パートナーを目指します。



SS (システムソリューション) 事業 -車載系開発実績-



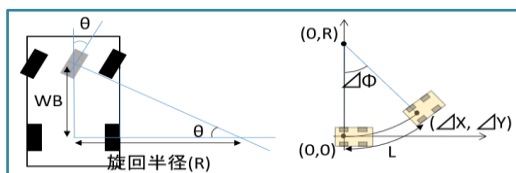
ナビゲーション/ディスプレイオーディオ/RSE

- ・地図描画
- ・VICS
- ・オーディオ(USB、CD、AUX)、ラジオ
- ・Bluetooth各種プロファイル
- ・スマートフォン連携(iPhone/Android)
- ・テレマティクス



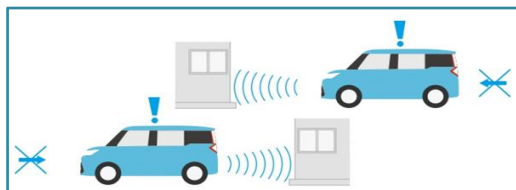
ヘッドアップディスプレイ

- 様々な形態のモデルを開発
- ・ウインドシールド投写型
 - ・可倒式コンバイナ型



メーター

- ・海外、国内の複数メーカーの電子メーターを開発
- ・CGI Studioを利用したHMI描画のアーキ設計・実装
- ・APTJ製AUTOSARを使用したCAN機能、診断機能



自動駐車制御・ソナー制御等ECU開発

- ・ソナーのノイズ除去
- ・ステアリング角度と車速パルスから自車位置推定
- ・空間推定と経路設定/追従
- ・障害物検知
- ・誤発進防止、ブザー鳴動

SS (システムソリューション) 事業 -デジタル家電開発実績-



項目	内容
開発プロダクト	Android TV
開発機能	- ネットワーク機能 (無線LAN/有線LAN) - 動画/音楽再生機能 - 外部機器との連携機能 - USBストレージ制御機能 - 自動評価システム



項目	内容
開発プロダクト	業務カメラ
開発機能	- OS/ドライバー - ファームウェアアップデート - 電源制御 - リチウムイオンバッテリー規格



項目	内容
開発プロダクト	デジタル一眼レフレンズ開発
開発機能	- レンズ基板設計 (*Hardware) - レンズ評価用治具 (擬似BODY) 開発(HW & SW) - フォーカス、手振れ補正、ズームの機能開発

SS (システムソリューション) 事業 -ハードウェア開発実績 システム/回路設計-

- ◆ARMなど各種組み込みマイコン応用機器
- ◆CPU・FPGA・高速IFを組み合わせた搭載ボードの開発
- ◆高速信号の波形信頼性評価
- ◆ラズパイや評価ボードを使用した試作、先行開発

CPU	高速IF	ツール	製品 他 開発実績
主要ARM系 ・ i.MXシリーズ ・ STM32シリーズ ・ RZシリーズ その他 FPGA内蔵コア ・ Zynq、Stratix10等	DDR4 USB3.0 PCIe Gen2 HDMI SFP+,QSFP	OrCAD CR8000 LtSpice LabView	・ IoT機器/装置開発 - 稼働監視ソリューション - 監視カメラソリューション ・ 医療系分析装置開発 ・ 半導体製造装置 ・ 業務用/デジタルフォトプリンタ ・ 遊技機器/ホール系開発 ・ 車載/船舶系 制御機器開発 ・ 超高画素カメラ、映像系ボード開発 ・ AGV/多関節ロボット 制御装置開発
基板設計			
インピーダンスマッチング 高速伝送線路シミュレーション EMIシミュレーション			

SS (システムソリューション) 事業 -ハードウェア開発実績 ASIC・FPGA設計-

- ◆ASIC・FPGA・PLDの開発・設計
- ◆仕様検討からRTL設計、実機検証まで

設計言語	検証	開発実績
Verilog VHDL System Verilog 高位合成(VivadoHLS)	期待値照合 アサーション検証 ランダム検証 検証メソッドロジ(UVM) カバレッジ(コード/機能)	・CPU向けイメージセンサIF変換 ・イメージセンサ向け画像処理(ISP) ・複写機ヘッド向け画像処理 ・産業用高速データ転送装置(PCIe,GbE,USB3.0等) ・Ethernetパケット処理 ・モーター向けエンコーダー処理(Biss-C) ・特殊シリアル通信IF変換 ・SoC(AMD/Intel)を使用した産業用計測器 ・半導体製造装置 ・ASIC検証向けUVM検証環境構築
デバイス/ツール		
デバイス実績 ・Intel(ALTERA) Stratix10、Arria10SoC、他 ・AMD(Xilinx) Virtex、Kintex、Spartan、Zynq、他 ・Lattice XO2/3、CrossLink ・microchip IGLOO-nano ・Efinix Trion 使用ツール ・ASIC向け : VCS / NC-Verilog ・FPGA向け : ModelSim / Vivado / ISE / Quartus / Diaomnd / Radiant		高速差動通信、PCIe、DDR4、AXIバスなどIP実績も多数

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -3次元CAD/CAMソリューション-

当社は1990年から**35年にわたりMastercamの代理店**として、Mastercamおよび周辺ソフトウェアの輸入販売だけでなく、ローカライズ、オリジナル教材の作成、コンサルティング、サポートなど、多岐にわたるサービスを日本国内および海外日本法人のユーザー様 数千社にご提供し続けています。

Mastercam®

部品加工・金型製作問わず、
世界で数多く使用されている
3次元CAD/CAMソフト

産業・教育の両分野で全世界トップの導入実績

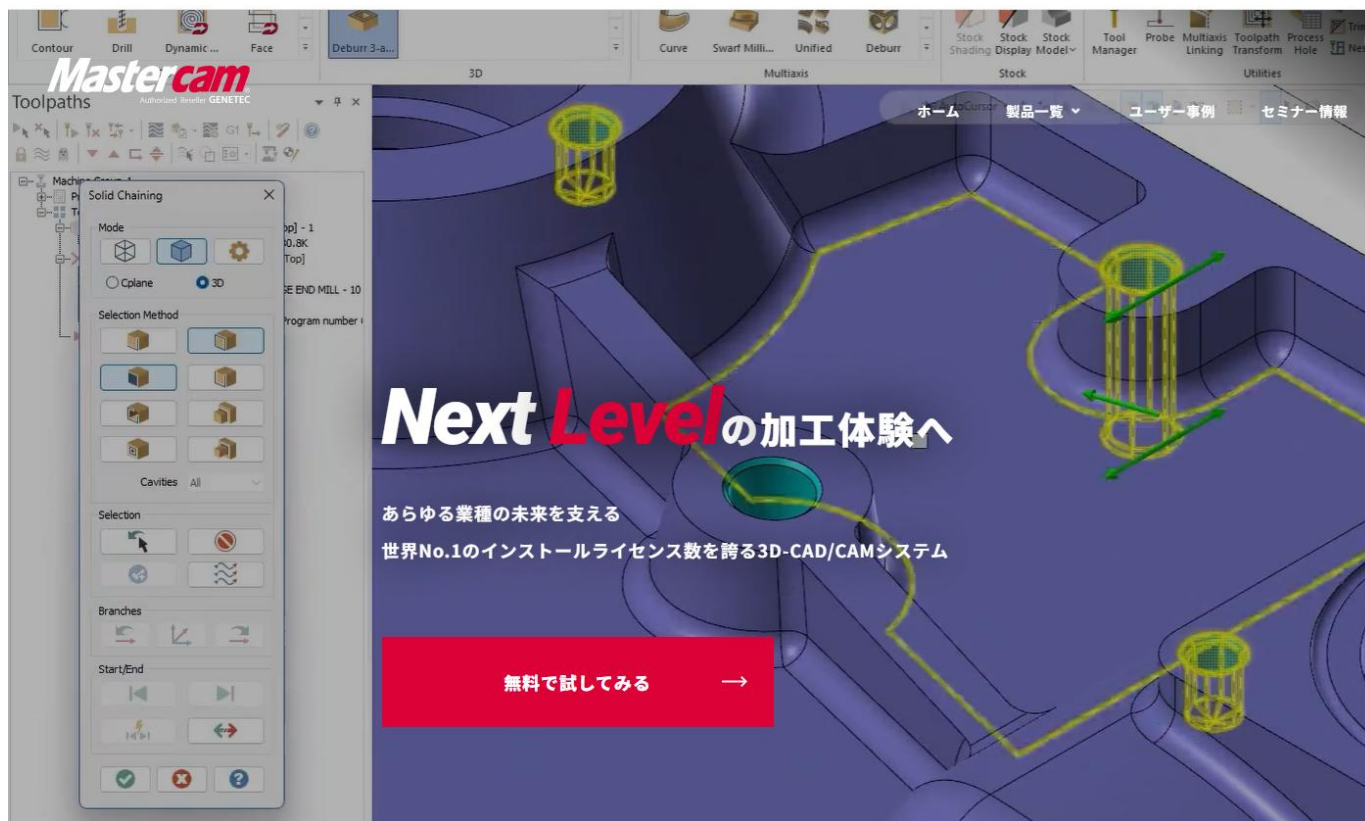
豊富な工作機械の稼働実績

統一された操作性

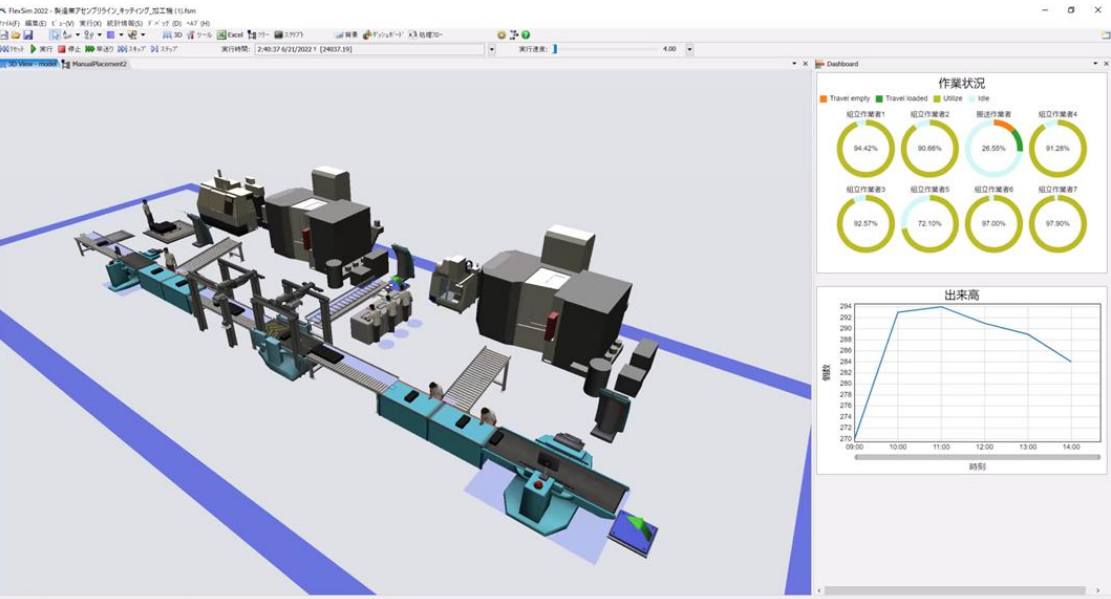
柔軟なトランスレータ

オールラウンドな多機能性

導入しやすい価格体系



ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -3Dシミュレーションツール-



FlexSimは製造ラインや物流倉庫などをデジタルツインで構築し、全体最適を図ることができる3Dシミュレーションツール

簡単操作で既存・新規の工場、倉庫に機器を配置。ヒト・モノの流れを計算して最適な人員の配置、機器の最適な台数を計算。分かりやすい円グラフ、棒グラフ、ガントチャートをソフトウェアの中で表示し、工場を自動化する際の費用対効果を施工前に把握することができます。

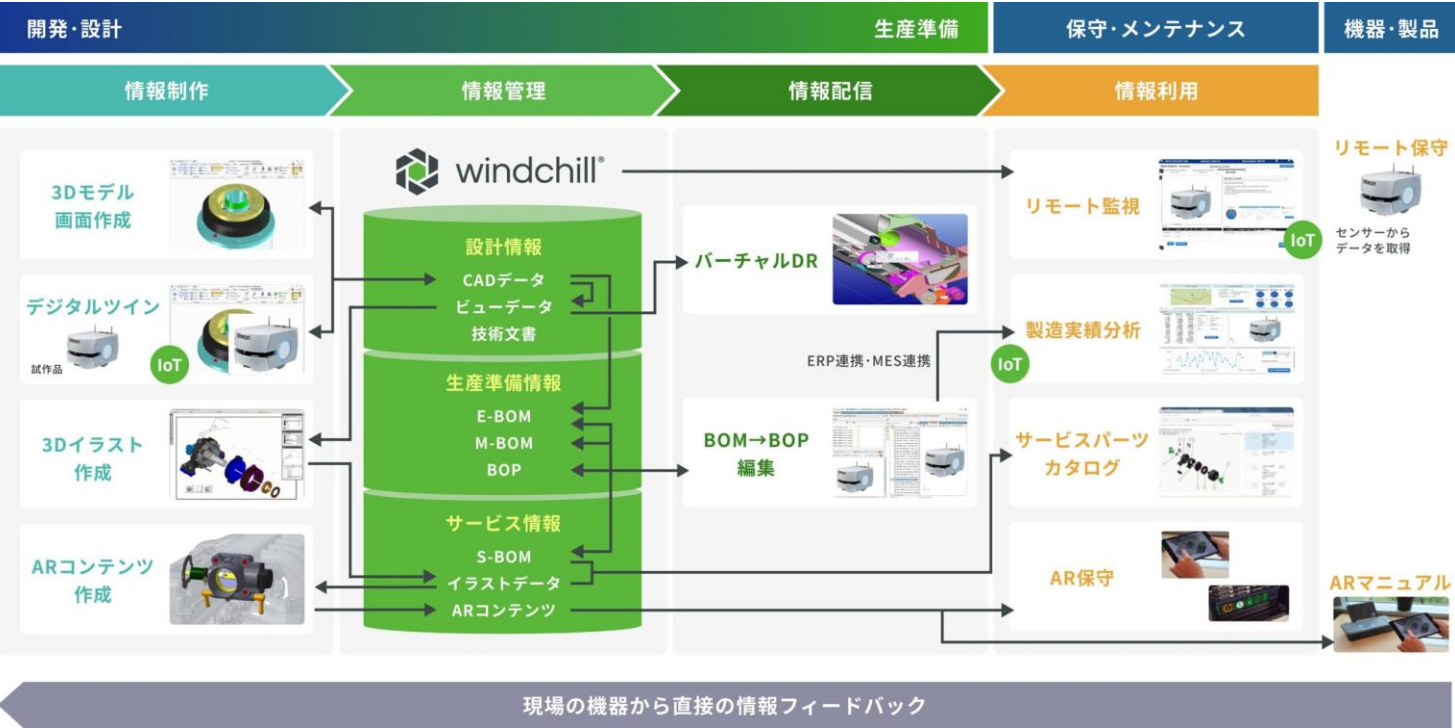
3次元上に設定したシミュレーションモデルは、分かりやすいプレゼンテーション資料として利用することができます。工作機械やマテハン機器などの形状は3次元CADやCGのモデルを読み込めるため、工場のレイアウトを確認することができます。

最新のVR機器にも対応しているため、あたかも現実の空間のように設計段階からレイアウトを実感確認できます。

※当社は日本国内における「FlexSim」日本語版の独占販売権を有しています。

	FlexSimの活用例
工場	工場生産ライン設計・生産スケジューリング・工場内物流
物流	倉庫レイアウト設計・拠点間配送プランニング
人の動き	作業員の適正配置・必要人数の算出
制御システム	時間内の生産個数
商業施設	人の動線・避難経路/避難時間

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -PLM(製品ライフサイクル管理)-



製品ライフサイクル全体を最適化する PLMソリューション

PLMは製品の企画・設計から製造、保守、廃棄に至るまでのライフサイクルをデジタル化し、一元管理します。

これにより、部門や拠点を超えたリアルタイムな情報共有と効率的なコラボレーションが可能となり、製品開発のリードタイム短縮や品質向上、さらには迅速な意思決定を実現します。

当社ではPTC社製品「Windchill」を活用し、製品開発プロセスのDXと効率化を実現します。

当社の強み

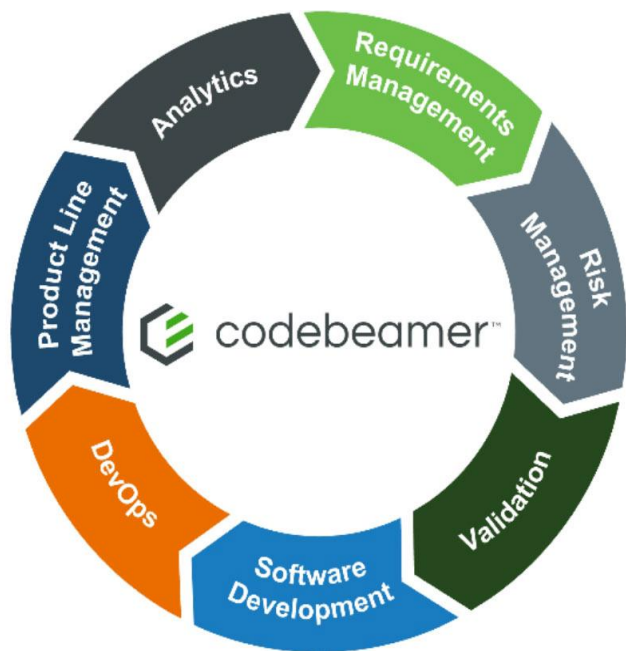
・豊富な導入・運用実績と人材

国内製造業への豊富なPLM導入・運用支援実績、Windchillに精通したPM、コンサルタント、技術者が多数在籍

・短期間で高品質な導入

Windchillの豊富な標準機能をパッケージ化した「クイックスタート」サービスにより、短期間で高品質なPLMシステムの導入を支援

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -ALM(アプリケーションライフサイクル管理)-



INTLAND
SOFTWARE



DIGITAL TRANSFORMS PHYSICAL

ソフトウェア開発の効率化と品質向上を実現するALMソリューション

ALMはソフトウェアの設計から開発、テスト、デプロイ、保守に至る全プロセスを一元管理するシステムです。

複雑化するソフトウェア開発においてCodebeamerは以下の課題を解決します。

- ・トレーサビリティの確保による開発効率/品質の向上
- ・開発案件間での資産共有と知的財産保護を同時に実現
- ・ツールチェーンの構築によるプロジェクト全体の可視化

当社はPTC社のCodebeamerを活用した効率的なALM導入を支援し、品質および開発スピード向上の両立を実現します。

当社の強み

- ・実際の「開発者の目線」で最先端のALMツールを提案し、技術サポートを提供
40年にわたる組込み開発の経験と、自動車・医療機器メーカーとの取引実績、実践的な技術コンサルティング力を活かしたサポート
- ・生成AIとCodebeamerを連携、ALMの効果を最大化
生成AIの活用によってガイドラインに基づく工程成果物を生成し、それらの情報をCodebeamerに自動で更新が可能

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -VCOLP(オフラインティーチングソフト)-



産業用ロボット向けオフラインティーチングソフト

オールインワン OLPソフトウェア



加工法を問わず

ロボット加工、溶接、塗装を一つのソフトウェアでティーチングします。



主要ロボットメーカーに対応

世界のトップロボットメーカー各社のプログラム言語に対応しています。



高速性・正確性・信頼性

使いやすいインターフェースで簡単にロボットをティーチングできます。



ノウハウの蓄積

ノウハウをソフトウェア内に蓄積することで、より高い品質のプログラムを作成できます。

組立て・ピッキング・溶接・研磨・トリミング・塗装などの工程を、ソフトウェア上で高精度に再現。お客さまニーズに対応したティーチングが可能

現場を止めてティーチングを行う必要がなく、
ロボットのティーチング時間を90%短縮



GPS事業

『ココダヨ』は、当社の特許技術をベースに開発した世界初の防災用位置情報自動通知サービスです。

- 緊急地震速報に連動して、登録したメンバーの位置情報を自動通知します。
- 通信規制によって電話やメールの利用が困難になる前に、居場所と安否とを確認できます。
- 1ヶ月間ご家族で無料体験できますので、ぜひお試しください。

au | STARLINK 衛星一スマートフォン直接通信「au Starlink Direct」に対応

居場所が分かれば
家族は守れる。



災害時
位置情報受信アプリ

「ココダヨ」は株式会社ゼネテックが提供する、
自社特許技術をベースに開発した防災・見守りアプリです。

<https://www.cocodayo.jp>



180万
ダウンロード突破
2025年9月末時点

Download on the
App Store



GET IT ON
Google Play



モアソンジャパンとのシナジー効果



株式会社ゼネテック

【拠点】 東京、大阪、名古屋、神奈川、広島、福岡

顧客基盤

開発リソース

ソリューション



株式会社モアソンジャパン

【拠点】 静岡(浜松・静岡)、名古屋、東京、大阪

顧客基盤

開発リソース

ソリューション



シナジー創出

両社の顧客基盤・開発リソース・ソリューションを活用

- ・東海エリアでの事業拡大
- ・東京・名古屋・大阪の各拠点での連携強化
- ・ソフトウェア開発およびソリューション提供を拡大



モアソングジャパン事業内容および開発実績

開発内容

開発実績

組み込みソフトウェア開発	- ファームウェア、ミドルウェア開発 - ドライバ開発（デバイス・通信など） - DSPマイクロプログラム開発	 - デジタル楽器、音響機器などのファームウェア - カーナビゲーション組み込み開発
CAD/CAMソリューション	- CAD/CAM/CAE関連製品の販売 - PDM関連製品の個別開発	- 計測プログラミング-シミュレーション - MSM Report 計測データ帳票作成 
ビジネスアプリケーション開発	- ビジネスアプリケーションの開発全般 - IT基盤構築の設計、構築、評価 - 技術者のアウトソーシングサービス	 - 生産管理システム - 品質管理システム - 物流管理システム
医療・ヘルスケア向けソフトウェア開発	医療、ヘルスケア系ソフトウェアの共同研究開発	- 透析治療管理アプリ“DialysisDiary” - 医療施設用待ち順番表示システム 
エンジニアリング系アプリケーション開発	PC、スマート端末、WindowsからiOS/Android、Linux、RTOSなど、様々なOS上で動作するアプリケーション開発	 - スマートデバイス用アプリ - 簡易3DCAD支援システム
放送向けソフトウェア開発	ラジオ放送業務専用のシステム開発	- スタジオ再生／収録システム CLASS-PAD - BWF-J対応マルチトラック波形編集アプリケーション PREBiEW 

会社概要

会社名	株式会社ゼネテック			
本社所在地	東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー25F			
代表者	代表取締役社長 上野 憲二			
設立日	1985年7月1日			
決算月	3月			
資本金	3億8,891万円（2025年7月23日現在）			
役員	代表取締役社長	社長執行役員	上野 憲二	
	取締役	副社長執行役員	鈴木 章浩	
	取締役	専務執行役員	末永 司	
	取締役	上席執行役員	上野 大輔	
	取締役	（監査等委員）	八戸 雅利	
	社外取締役	（監査等委員）	田中 俊平	
	社外取締役	（監査等委員）	水谷 翠	
	社外取締役	（監査等委員）	白上 博能	
従業員数（連結）	657名（2025年4月1日現在）			

会計監査法人	太陽有限責任監査法人
子会社	株式会社フラッシュシステムズ（2026年1月1日吸収合併予定） 株式会社モアソンジャパン
拠点	本社・新宿事業所・新横浜事業所・ 名古屋事業所・大阪事業所・ 広島事業所・福岡事業所
事業内容	■システムソリューション事業 ソフトウェア/ハードウェアシステム開発事業 ■エンジニアリングソリューション事業 3次元CAD/CAMシステム/ 3Dシミュレーションソフト/ 製品ライフサイクルマネジメントソフト等販売・ ソリューション提供事業 ERP導入支援 ■GPS事業 防災用アプリケーション提供事業
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場

当社グループの拠点



SDGs：持続可能な社会の実現への貢献

事業活動・企業活動を通じて、持続可能な社会の実現、企業価値の最大化を目指します。

事業を通じた社会貢献

対応Goal	寄与項目	当社事業・商材
--------	------	---------



E 環境

製造業の生産性向上

生産ラインや物流倉庫における劇的な生産性向上を、FlexSimをはじめさまざまなサービスで実現。日本のGDPの約20%、CO2排出量の約35%を占める製造業のDXを推進し、生産コスト・CO2排出量削減に寄与。



S 社会

人々の安心・安全な暮らしを実現

自社特許技術による位置情報受信アプリ「ココダヨ」の提供により、災害時、見守り時の安否確認、健康状況の把握に寄与。



企業活動を通じた社会貢献

対応Goal	施策項目
--------	------

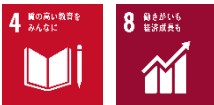


若手技術者・起業家の育成

ビジネスコンテスト「ゼネテックDXチャレンジ」を隔年実施予定。その他、起業家支援策にも取組予定。若手技術者・起業家の育成・成長を支援。

教育・研修制度

幅広い研修制度で、エンジニアの技術習得をバックアップ。エンジニアの成長を通じて、社会の発展に寄与。



福利厚生制度

各種資格取得報奨金制度や語学研修、社内サークル活動の支援、住宅手当・保養所活用などを通して、社員の働きやすい環境づくりを推進。



G ガバナンス

公正な事業への取り組み

リスクマネジメント、コンプライアンスを徹底。

当社の行動指針

中期経営計画の目標の達成、その先の長期ビジョンの実現に向けて、3つのCを指針として進み続けます。

Change – 変革 –

Challenge – 挑戦 –

Continue – 継続 –

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にもかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

IRに関するお問合せ先 : IR@genetec.co.jp

